**第116回 (令和9年度)日本病理学会 日本病理学賞 応募書式**

|  |  |
| --- | --- |
| (ふりがな)応募者氏名 |  　　 　　　会員番号:生年月日:　　　年　　月　　日生まれ　　（　　歳） |
| 　　所属 |  | 職名 |  |
| 所属住所 | 〒電話: Fax: 電子メール: |
| 応募者略歴 |  |
| 本学会における受賞歴 | 年、賞の名称、タイトルを記載してください。 |
| Pathology Internationalへの総説投稿 | 以下について、ご了承後にチェックを入れてください。□ 日本病理学賞を受賞した場合、Pathology Internationalへ総説を投稿することを確約します。 |
| 日本病理学賞受賞者として病理学会員に呈示したいperspective (専門領域あるいは病理学全般に関して) |

**以上、MS明朝体11ポイントで1ページ以内におさめること。図表不可。**

|  |  |
| --- | --- |
| 演題名 |  |
| 選考用抄録 (**1100**字以内、MS明朝体11ポイント) **記述の中で論文報告しているものについては、業績一覧の番号を附すこと。図表不可。** |

I. 日本病理学賞選考用関連論文一覧

以下の要領・記載例に従って作成してください。

・論文業績（50編以内）は１番を最新として、時系列で降順に示してください。

・著者は省略せずに全員を記載してください。

・応募者に下線を付し、太字にしてください。応募者が責任著者の場合には「\*」を付してください。

・掲載誌を太字にしてください。

・主要論文（10編以内）には番号に「〇」印をつけ、要旨を300字以内で記載してください。

記載例:

I.関連論文一覧（全○編）

1. Tanaka J, Yamada S, **Suzuki I\***. Single cell RNA analysis of ZRRF1-induce breast cancer mice model. **Pathol Int** 72; 500-505, 2022

2. **鈴木一郎,** 田中二郎,山田三郎, 伊藤四郎. 浸潤性乳管癌の間質形成と臨床的特性. **診断病理**, 50; 175-180, 2021

3. **Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Immunohistochemical analysis of ZRRF1 in invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 68; 203-210, 2018

（要旨）乳癌関連分子ZRRF1について、免疫染色にて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・を示した。また・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・を見出した。この論文は・・・・・・・について世界で初めての報告。

4. **Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Cloning of signaling molecule ZRRF1 in breast cancer cell line MCF7. **Pathol Int** 60; 124-130, 2010

5. ・・・・・

II. （参考資料）Pathology International誌掲載論文一覧

以下の要領・記載例に従って作成してください。

・Pathology International誌（Acta Pathologica Japonica誌を含む）に論文掲載が有る場合には、論文業績（50編以内）とは別途記載してください。上記論文業績50編に含まれる場合にも再度提示してください。総説、原著論文、症例報告、その他に分けて記載してください。

記載例：

II. Pathology International誌掲載論文一覧（全6編）

総説

1. Yamada, S., Tanaka, J., and **Suzuki I.** New classification of breast cancer in Japan. **Pathology Int**, 58, 104-1016, 2008.

原著論文

2. Tanaka J, Yamada S,  **Suzuki I\***. Single cell RNA analysis of ZRRF1-induce breast cancer mice model. **Pathol Int** 72; 500-505, 2022

3. **Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Immunohistochemical analysis of ZRRF1 in invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 68; 203-210, 2018

4. **Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Cloning of signaling molecule ZRRF1 in breast cancer cell line MCF7. **Pathol Int** 60; 124-130, 2010

症例報告

5.**Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. A case of invasive ductal carcinoma of the breast expressing ZRRF1. **Pathol Int** 68; 180-188, 2018

その他(letter to the editor)

6.**Suzuki I**, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Technical notes for immunostaining for invasive ductal carcinoma of the breast. **Pathol Int** 66; 194-199, 2016